

資料4

情報提供等

- ・第3回物流小委員会（H27.6.19 JR 貨物関係資料）抜粋

安定輸送の確保

お客様の信頼獲得のために

定時性の向上

- ・ 正しい作業の実行

安定輸送の確保

輸送障害を未然に防止する取り組み

- ・ 車両故障の削減
- ・ 老朽車両の取替

輸送障害発生時の対応力強化

- ・ 輸送障害からの早期復旧
- ・ 輸送障害時の連絡体制整備
- ・ トラック、船舶代行の強化

昨年10月、東海道線由比～興津間で土砂流入が発生し、大動脈である東海道線が寸断

【概要】

1. 発生日時 平成26年10月6日 午前8時59分頃
2. 発生箇所 東海道線 由比～興津間
3. 運転再開日時 平成26年10月16日 午前5時36分
4. 延べ運休本数 858本
5. 当該区間を通過する貨物列車の概要
(1)1日当り貨物列車本数 約90本(全国計 約490本)
(2)1日当り提供輸送力 約5万5千t(全国計 約11万t)

東海道線不通時の対策を検討(抜粋)

1. 輸送力確保及び輸送計画策定(迂回・折返し列車含む)
代替輸送力・輸送手配シミュレーション、船舶輸送の検討ほか
2. 輸送機材・要員
輸送機材のリタンダンシー、危機管理上の予備機関車・貨車
配置の検討ほか
3. トラック代行輸送
グループ会社によるトラック代行輸送の拡充ほか
4. 沿線の防災強化の要請
5. 鹿など動物との衝突事故対策の要請

『モーダルシフト促進のための貨物鉄道の輸送障害時の代替輸送に係る諸課題に関する検討会』
(国土交通省)の開催へ